

青梅市社会教育委員会議1月定例会会議録

平成31年1月15日
201会議室
出席者 委員 9名
(欠席者 委員 1名)
事務局 3名

1 開 会

【議 長】昨日行われた成人式は、いい雰囲気でしたと思う。

【課 長】昨日の成人式のご出席ありがとうございました。無事終了した。

2 報告事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会
について (報告資料1)

ア 日 時 平成30年12月15日(土)午後1時45分～

イ 場 所 武蔵野公会堂

ウ 内 容 各ブロック研修会実施報告・講演

エ 出席者 宮野議長、金子委員、神山委員、市川委員、栗原委員、
小花委員 随 行 事務局土屋、田中

【事務局】事務局から報告。

【委 員】講演会は、陸前高田市で長くボランティア等をされて熱心に活動されている泌尿器科の先生のお話だった。陸前高田市の平均寿命は、震災前は低く、人と人とのかかわりの場も少なかったが、震災後は平均寿命が延伸した。その理由として、仮設住宅で暮らしていく中で、体操等を目的にみんなが家から出て人と人とのつながりが増えた。結果的に運動がよかったというよりは、人と人がつながったところがよかったのではないかということをお話されていた。人と人がつながることの大切さを面白おかしく、丁寧にお話しされていた。

【委 員】事例研究等は、地域の特性がもう少し語られるともっとよかったと思う。地域は地域で、隣の地域がやっているからうちも同じようにやろうといっても無理がある。地域の特性がもう少しあれば、自分達の目線で、例えば青梅方式はどうなのかということをお話として考えることができる。講演会は、生涯学習のライフサイクルのステージの中で、学びを通してどう生きていかなければならないのか、また、心理学者のユングの言葉を引用して朝起きた時に今日することがない人は不幸せだということが、現代社会でもおきているということをお話いただき、よい講演会であった。

【委 員】ブロック研修会の報告は、各市まとまった発表であった。講演はユニークにお話されていた。100個以上居場所は作りましょう、絆・つながりの大切さ、耳からの情報が大事というお話をされていた。

【委 員】講演された先生の本を読んだ。薬物の本については、規制を強化し

ても緩和しても染まってしまうのでどうしたらいいのかという結論がでないような内容だった。もう一つは、今どきの男の子についての内容で、バブル崩壊後マザコンや我慢できない子が増えたというのは一つの流行と捉えると、一つの何かきっかけがあると立ち上がっていけるのではないかという内容であった。

【議長】講演会は、もっともなような話に感じるが、その中でつながりを自分から切る人も多いと感じる。つながりも、そのつながりの中に入ってしまうと違和感はないが、入るまでが大変。言う事とやることは違うのだと思う。人とつながっていないと生きていけないなとことは実感する。交流大会懇親会の雰囲気は和やかであった。しかし、各々の市ごとに交流しているかんじだったので、やり方の工夫が必要であると感じた。

(2) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第4回役員会の開催について (報告資料2)

ア 日時 平成31年1月22日(火)午後1時30分～

イ 場所 武蔵野スイングホール スカイルーム(10階)

ウ 参加者 宮野議長、随行 土屋

【事務局】事務局から概要説明

(3) 平成31年青梅市成人式について (報告資料3)

【事務局】事務局から報告。

【議長】参加された委員から、意見感想等伺いたい。

【委員】滞りなく終わった。天候も穏やかで何よりだった。のぼりを持っていた方や、例年どおりにぎやかな方や式の途中で立ち歩いていた方もいたが、印象としてはスマートな運びだった。新成人の代表のパフォーマンスの映像を通して、頑張っている様子が伝わった。親善大使の篠原さんのビデオレターは、青梅市について率直に語っていただいていたよかったです。

【議長】全体的に穏やかであった。司会の方、誓いの言葉を述べた方が素晴らしかった。青梅にも、スーパースターみたいに、目標を持ってしっかりした子がいることに感心した。運営としては成功した成人式だったと思う。

【委員】テレビで以前ひどい様子を見ていたので心配だったが、スムーズにいったと思う。問題なく終わって安心した。

【委員】着物を着た方が、袂を垂らして椅子に座るなど、着物を着た方のふるまいが少し残念であった。

【委員】のぼり旗を持って目立っていた子がいたが、インタビューをした方が目立つ子をうまくほめており、エネルギーがありあまっている感じだった新成人が、インタビューを受ける中で少しずつ落ち着いてきていたように見受けられ、よい方法だと思った。スムーズにつつがなく終わってよかった。

【委員】「ゆとり」「さとり」と言われる世代でおとなしいイメージがあったが、みんないきいきと生きている、期待できると思った。インタビューする方のやりとりが上手で、派手な子にも寄り添っていてよかった。

【議長】出席率が若干下がっている要因は何かあるか。

【事務局】平成13年以来の低い出席率であったが、インフルエンザ等流行し体調をくずしやすい時期ではある。また、SNS等で地元の友達と日常から連絡をとっており、成人式で久しぶりに会うという感覚が薄れたのではないかとこともあると思う。

【委員】民法の改正で成人年齢が18歳に変更される中で、成人式のあり方が色々と検討されている。18歳のこの時期は、センター入試の前後でもある。地方では夏のお盆に行っているところもあり、今後時期についても検討していく必要がある。また、大人は成人をどう祝うかと考えているが、子ども達は祝ってほしくないという考えも持っているのではないか。のぼり旗を持っているのも、元気な若者と思えば目をつぶってあげてもいいのではないか。壇上に登ってということになると問題だが、自己アピールという場が若者にはないので表現しているのではないか。

(4) 小学校入学説明会における家庭教育の啓発について (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。

【委員】就学前教育で、入学前の健康診断のときに、家庭教育インストラクターが、幼稚園や保育園と学校の違いを講演し、学校の部分の目線で伝えると、少しでも不安が解消されるのではないかとということで、30年以上続けられている地域もある。

【議長】説明を希望する学校には、積極的に行っていただきたい。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料5)

【事務局】事務局から概要説明。

(6) その他
特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議11月定例会会議録(案)について (協議資料1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(2) 平成30年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿の提出について (協議資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

(3) その他

特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成31年2月19日（火）